

科学研究費補助金およびその他研究プロジェクト

1. 科学研究費補助金による研究

■研究代表者

(1) 若手研究(B) (課題番号: 18720111) : 2006年4月~2009年3月
「日本語と韓国語の呼称選択に見られるポライトネス・ストラテジーに関する研究」

(2) 基盤研究(C) (課題番号: 21520447) : 2009年4月~2012年3月
「日韓両言語の呼称語と述語表現の共起関係に関する容認性判断と性格特性の影響」

(3) 基盤研究(C) (課題番号: 24520638) : 2012年4月~2015年3月
「日韓両言語学習者の呼称使用ストラテジーに対する容認性判断と性格特性の影響」

■研究分担者

(1) 特別研究員奨励費 (課題番号: P02295) : 2002年9月~2005年3月
「代名詞的用法の対称詞および他称詞に関する日韓対照研究」
(研究代表者: 広島大学国際文化研究科・助教授・深見兼孝)

(2) 基盤研究(C) (課題番号: 20520468) : 2008年4月~2011年3月
「中国語および韓国語を母語とする日本語学習者の共起表現の習得に関する比較研究」
(研究代表者: 名古屋大学大学院国際言語文化研究科・教授・玉岡賀津雄)

(3) 基盤研究(C) (課題番号: 20520497) : 2008年4月~2011年3月
「韓国語コミュニケーション能力養成のための語彙学習用Web教材の開発」
(研究代表者: 大阪大学サイバーメディアセンター・准教授・竹蓋順子)

(4) 基盤研究(C) (課題番号: 20520537) : 2010年4月~2013年3月
「自然言語処理の技術を利用したタグ付き学習者作文コーパスの開発」
(研究代表者: 筑波大学人文社会系(留学生センター)・准教授・李在鎬)

(5) 基盤研究(B) (課題番号: 23320706) : 2011年4月~2014年3月
「超級学習者は母語話者と同様に日本語文を処理しているか—行動・脳科学実験による解明」
(研究代表者: 名古屋大学大学院国際言語文化研究科・教授・玉岡賀津雄)

■研究協力者

(1) 基盤研究(B) : 2001年4月~2004年3月 (2003年度のみ)
「日本語学習辞書編纂に向けた電子化コーパス利用によるコロケーション研究」
(研究代表者: 名古屋大学大学院国際言語文化研究科・教授・大會美恵子)

(2) 基盤研究(C) : 2002年4月~2004年3月
「中国語系日本語学習者の漢字の意味的ネットワークと漢字熟語の習得」
(研究代表者: 広島大学留学生センター・教授・玉岡賀津雄)

(3) 基盤研究(C) : 2002年4月~2005年3月
「動詞形態の認知処理過程を手がかりとした言語機構の構造の解明」
(研究代表者: 広島大学大学院教育学研究科・助教授・酒井弘)

(4) 若手研究(B) : 2003年4月~2005年3月
「韓国語系日本語学習者における尊敬語と謙讓語の知識と運用の関係」
(研究代表者: 広島経済大学・助教授・宮岡弥生)

(5) 基盤研究(C) : 2004年4月~2006年3月
「中国語、韓国語およびトルコ語を母語とする日本語学習者の日本語語順の習得」
(研究代表者: 広島大学留学生センター・教授・玉岡賀津雄)

(6) 基盤研究 (C) : 2007年4月～2010年3月
「中国語または韓国語を母語とする日本語学習者の敬語能力に関する実証的研究」
(研究代表者: 広島経済大学・准教授・宮岡弥生)

2. 科学研究費補助金以外の学外助成金による研究

■研究代表者

(1) 韓国学中央研究院 (AKS-2008-R15) : 2008年6月～2009年5月
「韓国語教育支援共有資源化のためのコーパス構築: 日本語母語話者の作文データベース化を中心に」

■研究分担者

(2) 九州大学・大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト: 2007年4月～2008年3月
「IT技術を活用したアジア言語教育環境の構築」
(研究代表者: 九州大学大学院言語文化研究院・准教授・曹美庚)

3. 学内助成金による研究

■研究代表者

(1) 山口県立大学・研究創作活動基盤研究 (B) : 2007年6月～2008年3月
「ICT (Information Communication Technology) を活用した韓国語教育支援環境の構築」

(2) 山口県立大学・研究創作活動研究・緊急教育課題対応 (B) : 2007年6月～2008年3月
「実践韓国語能力向上にむけた新学部専門科目「韓国語リスニング I・II」教材開発」

(3) 山口県立大学・研究創作活動研究・緊急教育課題対応 (B) : 2008年6月～2009年3月
「韓国語の実用語彙習得に関する研究: 学習効果を高める語彙教材の開発を目指して」

(4) 山口県立大学・研究創作活動研究・基盤研究 (A) : 2009年6月～2010年3月
「韓国語学習者作文コーパス (KC Corpus) と韓国語教育への活用」

(5) 山口県立大学・研究創作活動研究・基盤研究 (A) : 2010年6月～2012年3月
「多文化・相互理解のための韓国語教育スタンダードの開発」

(6) 山口県立大学・研究創作活動研究・教育方法改善: 2012年6月～2013年3月
「韓国語学習者のための文字書き映像教材の開発」

■研究分担者

(1) 山口県立大学・研究創作活動研究・基盤研究 (A) : 2008年6月～2009年3月
「山口方言の特殊拍における知覚と産出に関する実験的方法論の開発」
(研究代表者: 山口県立大学・助教・池田史子)